

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんあまーびれふいるはーもにーかんげんがくだん		団体ウェブサイトURL	
	一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団		<a href="https://amabile-phil.com/">https://amabile-phil.com/</a>	
代表者職・氏名	理事長 大門 信哉			
制作団体所在地	〒	567-0804	最寄り駅(バス停)	阪急京都線総持寺駅
	大阪府茨木市総持寺台1-14-1			
電話番号	072-648-5874			
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんあまーびれふいるはーもにーかんげんがくだん		団体ウェブサイトURL	
	一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団		<a href="https://amabile-phil.com/">https://amabile-phil.com/</a>	
代表者職・氏名	理事長 大門 信哉			
公演団体所在地	〒	567-0804	最寄り駅(バス停)	阪急京都線総持寺駅
	大阪府茨木市総持寺台1-14-1			
制作団体 設立年月	2015年7月			

制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	理事長 大門信哉 副理事長 堂免 直孝	事務局長 5名 ライブラリアン2名 客員コンサートマスター1名 演奏員42名		
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当を置く	本事業担当者名	吉松美香	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	山野展弘	

制作団体沿革	<p>一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 当楽団は「若手演奏家にもっと演奏の場を」という思いのもと、2015年7月1日に設立。以来積極的に演奏会を重ね、公演回数は220を超える。創立5年にして2020年6月に日本オーケストラ連盟に準会員として加入し、地元茨木市に根付いた活動に重点を置きながらも広く演奏活動に取り組む。「定期演奏会」は第12回、ソリストを主役に迎える「コンチェルトシリーズ」は第18回、創設当初から根強いリピーターを獲得してきた「サロンコンサートシリーズ」は第170回を迎える。 2022年は「親子コンサート」をすでに2回実施しており、各回ともに満席となっている。 茨木市を中心とした学校などの教育機関への有償訪問公演、外部からの依頼公演なども積極的に実施している。 また2020年より楽団Youtubeアカウントから積極的に演奏動画を発信しており、コロナ禍における若い演奏家の演奏機会創出や、広い世代へのクラシック音楽の振興、より広く楽団を周知する活動等に努めている。</p>			
学校等における 公演実績	<p>2019年度 親子コンサート 7回 2020年度 幼稚園・保育園公演 4回 2021年度 幼稚園・保育園公演 9回 ファミリーコンサート 3回 2022年度 文化庁 文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演 本公演 9回(予定含む) 文化庁 子どものための文化芸術再興体験事業 学校による提案型 本公演 23回 幼稚園保育園公演 3回 ファミリーコンサート「0歳から楽しめるクラシックコンサート」 1回 ファミリーコンサート「オーケストラの宝箱」 2回(10月以降予定1回) 小学校有償公演「オーケストラを「知る」クラシックコンサート」 1回(10月以降予定5回) 小学校有償公演 周年記念行事 2回(予定) 子ども会コンサート 1回</p>			
特別支援学校等における 公演実績	<p>まだなし 各学校公演等において支援の必要なお子様への配慮を打ち合わせを毎回行っている。 音の苦手なお子様には外で聴いていただき、体験時にはスタッフが楽器をもってその場所まで伺うなどできる限りの配慮と工夫を行っている。</p>			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有		
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtube.com/playlist?list=PLTVviiU0bRjRWvmzyn2zEJdPTh1MYPe-6">https://youtube.com/playlist?list=PLTVviiU0bRjRWvmzyn2zEJdPTh1MYPe-6</a>		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
	PW:			

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	オーケストラを「知る」クラシックコンサート			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>①ヘンデル/水上の音楽 第2組曲より 序曲 ②ご挨拶・弦楽器紹介 ③ブリテン/シンブルシンフォニー より 第4楽章 ④管楽器紹介 ⑤ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」より 第1楽章 ⑥リズムの効果体感コーナー～バッハ/管弦楽組曲第3番第2曲「アリア」を使って～</p> <p>休憩15分</p> <p>⑦指揮者体験コーナー～ヘンデル/水上の音楽 第2組曲より「アラ・ホーンパイプ」を使って～ ⑧ストラヴィンスキー/バレエ音楽 「プルチネルラ組曲」 i. シンフォニー iii. スケルツォ～アレグレット～アンダンティーノ iv. タランテラ v. トッカータ vii. ヴィーヴォ viii. メヌエット～フィナーレ</p> <p>⑨校歌をオーケストラと歌おう！ E. ヨハンシュトラウス1世/ラデツキー行進曲 ヴァイオリン体験</p> <p style="text-align: right;">公演時間 約90 分</p>			
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	別添あり			
演目選択理由	小編成管弦楽に特化したプログラムです。特殊な楽器を使用せず、かつ各曲が強い個性を放ち聴衆を飽きさせないラインナップで、運営コストパフォーマンスに優れた編成となっております。前半は序曲の後は弦楽器→管楽器→打楽器の順番で紹介しながらその特色のある作品を演奏していくスタイルです。各楽器の音色が重なり合っていく過程を意識してご鑑賞いただけます。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>●<b>リズムの効果体感コーナー</b>／上記にもあるように、新型コロナ感染症対策がどのように変化しているかを考慮した上で、歌唱やリコーダーを伴わず、手拍子での参加を効果的に練った演目となります。参加者に演奏していただくリズムパターンはワークショップを含め本公演内でも当団演奏者がレクチャーし、本公演に於いても前に立ち先導してより一体感をもって参加していただけるよう練ってあります。曲の進行と共に編成も大きくなりリズムの効果が高まるよう編成を施してあります。</p> <p>●<b>校歌</b>／実際に歌うかどうかは各学校で対応が変わると思いますので、距離を空けて歌う、マスクをしたまま歌う、口を開けずハミングで歌う、聴くのみとする、等、協議の上で実施方法は選択していただけます。</p> <p>●<b>指揮者体験コーナー</b>／指揮者の実演と指揮解説とレクチャーを行った後、実際にオーケストラを指揮していただけます。2名を考慮しておりますが、体験者の選考方法や人数は学校側のご要望に柔軟に対応させていただきます。</p> <p>●<b>ヴァイオリン体験コーナー</b>／実際に本物のヴァイオリンに触れて子どもたちに音を出していただく体験に加えて、鑑賞する子どもたち・教職員も全員にヴァイオリンに触れていただくコーナーです。重さや質感、弦の張り具合などヴァイオリンを身近に感じていただきながら演奏への興味を増幅させることができます。</p>			
出演者	<p>指揮者/松岡究 うた・司会・語り/1名 管弦楽/一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 本公演に参加する編成 フルート2名、オーボエ2名、クラリネット2名、ファゴット2名、ホルン2名、トランペット2名、バストロンボーン1名、打楽器奏者1名 ヴァイオリン9名、ヴィオラ3名、チェロ3名、コントラバス2名</p>			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者: 33 名	運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 7 名		車長: 6,5 m	
	合計: 40 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	仕込み9:00~10:00 ゲネプロ10:30~12:00		13:30~15:00	15分	15:00~16:00	16時00分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	20日	10日	20日	20日	
	11月	12月	1月	計	140日	
	20日	15日	15日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名(指揮者・ヴァイオリン演奏)300名(バイオリン体験)
		鑑賞人数目安	400名

体育館舞台下を利用。  
フロア占有面積 横15m×縦10m



●指揮者体験  
2名～3名体験していただけます。



●リズムの効果体感コーナー  
リズムの効果を学習。  
全員参加型セッションにより効果を体感。



●ヴァイオリン体験  
児童生徒の皆様・保護者・先生方全員にヴァイオリンに触れていただきます。奏者全員でレクチャーします。



●楽器紹介  
オーケストラで使われる楽器を奏者が紹介



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	150名
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>演奏者(司会含む)6名を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オーケストラで使用する楽器の仕組みや特徴を実演を伴い解説する。 奏者一人一人が楽器を紹介し、それぞれに楽器とのエピソードなど交えて紹介していく。 楽器単体での演奏を聴くことで弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器それぞれの特徴を知り、音色の違いを学ぶことができる。</li> <li>●演奏者によるミニコンサート。 オーケストラとは何か、合奏とはどういうことかを実際に曲を聴きながら学んでいく。 メロディ・ハーモニー・リズムがだんだんと増え曲の雰囲気が変わっていく様子を体感し、本公演への興味をより高めることが可能。</li> <li>●本公演「リズムの効果体感コーナー」で共演する為のリズム講座。 ジャンルや曲によって異なるリズムパターンの違いなども併せて実演を伴い解説する。 様々な国の特徴的な拍子を紹介。身近な楽器から少し珍しい楽器・手作り楽器などを用いて解説しリズムに関してジャンルを問わずに知ることができる。 手拍子で子どもたちも参加し、拍子や曲の雰囲気を味わうことができる。</li> <li>●リズム講座を踏まえ、シンプルなりズムを使って共演。 数パターンのリズムを学び、セッションに挑戦する。体を使ってリズムを表現し、奏者の演奏と共演することによって音楽に参加する楽しさを体感することができる。</li> <li>●質問コーナー 奏者や楽器についての質問はもちろんのこと、本公演についての期待している点や楽曲についての質問なども受け、より本公演への期待を高めることができる。</li> </ul>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーケストラ鑑賞に対するねらい 演奏家による実演を交えた直接指導により、本公演での共演がより良い完成度で迎えられるための手助けを行う。 実際の演奏や話を聴くことで、オーケストラについて少しでも興味を高め、本公演への興味関心を引き出す。 また、奏者との距離感が近くなることでオーケストラへの親近感が沸き、クラシックを聴いてみようとする子どもが増えることも期待している。 本公演でワークショップのことを思い出し、楽器の音色や演奏方法などに着目して鑑賞できるようにする。</li> <li>●新しい鑑賞スタイルの提案と振興 感染症対策を念頭に置いた音楽授業への取り組み方を最新ガイドラインに沿ってレクチャーする。来るかもしれないウィズコロナ時代を視野に入れた、今後の鑑賞スタイルの提案と振興もねらいとしている。</li> </ul>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校の要望によっては、半数をオンラインで実施するなどの工夫も可能。</li> </ul>		

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】
項目内容	<p>○ヘンデル／水上の音楽第二組曲より 序曲</p> <p>対抗配置で置かれた金管楽器の活躍が印象的な、荘厳な幕開けです。金管楽器は立奏します。</p> <p>○ブリテン／シンプルシンフォニー 作品4 より 第4楽章</p> <p>この曲は知らないぞ？という思いも、ひとたび聴いていただければ意味のないものであったと納得いただける作品です。</p> <p>学校における公演で特に大切なのは、その聴衆が知っているかどうかではなく、聴いたその時にその作品や取り組みに興味を持っていただけるかどうかというふうに考えております。児童や生徒にとっては大半の作品が初見となるのはその人生経験の長さからして当然のことであり、大切なのは新しいものを知った時に意識がそこに向かうかどうかであると考えます。この作品は、弦楽器紹介の後に演奏いたします。その魅力をピチカート奏法も含め、キャッチーに伝えてくれる作品です。</p> <p>○ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」より 第1楽章</p> <p>いわずと知れたクラシックにおける王様がこの作品になります。管楽器の紹介の後に演奏することで、先に演奏した弦楽合奏の形態と、管楽器が入った管弦楽の音の違いにも注目して聴いていただくことができます。</p> <p>○リズムの校歌体感コーナー～バッハ／管弦楽組曲第3番第2曲「アリア」を使って～</p> <p>とりわけ「リズム」に特化した演目を用意しました。こちらは当団オリジナルの共演型企画で、身体一つあれば奏でられるリズムを、バッハ作曲の管弦楽組曲第3番第2曲「アリア」、所謂「G線上のアリア」ですが、この静かな作品に加えていくことで、「リズム」が如何に音楽の表情に大きな影響を与えることができるかを、児童・生徒の皆さん自身の手拍子や足踏みをもって体験していただきます。オーケストラと一緒に演奏することで、奏でる楽しさを体験していただける演目となっております。曲の終盤には金管楽器も加わり、大きな盛り上がるうちに前半を終える形になります。</p> <p>○指揮者コーナー～水上の音楽第2組曲より アラ・ホーンパイプ～</p> <p>この企画の幕開けに演奏した「序曲」に続いて演奏されるのがこのアラ・ホーンパイプです。序曲よりも有名で、演奏される機会も多い作品です。指揮者コーナーには珍しい「三拍子」の作品を、ぜひ指揮していただきたいと思えます。</p> <p>○ストラヴィンスキー／プルチネルラ組曲(抜粋)</p> <p>まさに温故知新ともいえるこの名作は、馴染みやすく美しい、既存の旋律をもとにストラヴィンスキーによる近代的な手法によって生み出された作品です。一つ一つが短く、かつ効果的に作曲されており、聴衆へのサプライズの演出や、管楽器の特性を生かしたソロワークによって、抜粋した16分間、決して興味の尽きることのない時間になることでしょう。なお、各楽章間で短くではありますが、その解説を司会者より紹介しながら演奏するスタイルをとりますので、聴きどころもわかりやすく捉えていただけます。</p> <p>○校歌</p> <p>オリジナルの編曲で、校歌を演奏いたします。コロナ禍においては合唱に対し様々な対策を講じる必要があるため、校歌の演奏方法は学校側と協議をしてご選択いただけます。 (例:マスク付きで歌う、離れた形態に移動して歌う、歌わない、など。)</p> <p>○ヴァイオリン体験</p> <p>可能な限り多くの児童・生徒さんに本物のヴァイオリンに触れていただくために工夫されています。2022年実施の公演の同企画では、ほぼすべての児童・生徒の皆さんにヴァイオリンに触れていただくことができました。アテンドは当団の演奏者が直接行い、演奏家との距離も縮まり、クラシック音楽との壁を取り払うことにもつながります。</p>	

アマールレフィルハーモニー管弦楽団  
巡回公演メンバー表（予定）AB区分

パート	氏名
指揮者	松岡究
歌手	藤本裕貴
コンサートマスター	釋伸司
フルート	窪田香織
	樋口藍
オーボエ	福盛貴恵
	樋口成香
クラリネット	瀨松春菜
	新竜馬
ファゴット	木村卓巳
	佐々木威裕
ホルン	東本眞奈
	世古宗優
トランペット	西谷良彦
	松原一樹
バストロンボーン	澤井亮太郎
バイオリン	藪野巨倫
バイオリン	木村修子
バイオリン	天野千恵子
バイオリン	安藤佳子
バイオリン	萩原合歓
バイオリン	三谷りょう
バイオリン	立花礼子
バイオリン	伊藤梢
ビオラ	駒木愛弓
ビオラ	宇佐見優
ビオラ	三木香奈
チェロ	山岸孝教
チェロ	山岸亜友美
チェロ	山梨浩子
コントラバス	関一平
コントラバス	河村久美子
パーカッション	樽井美咲